

もっと安心農産物 スイカ(トンネル)栽培暦(平成29年)

JA富里市 西瓜部

1. 土づくり

作付前に堆肥を施用する

2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守

	肥料名	施肥量
基肥	代替え肥料選定中	200kg/10a
	<土壌改良資材> セルカ(有機石灰)・苦土石灰・畑のカルシウム 硫マグ・苦土重焼燐・BM ようりん・硫加・土づくり12号	土壌診断結果により必要量を施用

3. 防除 化学合成農薬 13 カウント(成分×回数)まで (苗購入の場合 11 カウントまで)

月	管理作業	病虫害の発生推移	薬剤名	希釈倍数・処理量(収穫前日数)	対象病虫害	備考(耕種的防除の実施等)
1月	は種	センチュウ 立枯病				苗床でずらしを実施し、ガッチリとした苗づくりをする
2月	施肥		D-D	15~20ℓ (作付の10~15日前まで)	ネコブセンチュウ	
			または ネマトリンEース粒剤	20kg(定植前)	ネコブセンチュウ	
3月	定植		アトマイヤー1粒剤	1~5g/株 (定植時)	アブラムシ類	アブラムシ・ハダニ防除のため圃場周辺の除草を実施する
4月	交配		ベルコート水和剤	1000 (前日)	菌核病 うどんこ病	換気を実施し、病害の発生をおさえる
			ウララDF	2000 (前日)	アブラムシ類	
			バロックフロアブル	2000 (前日)	ハダニ類	
5月		アブラムシ・うどんこ病・菌核病	カンタストライフフロアブル	1000 (前日)	菌核病	うどんこ病はまん延してからでは遅いので早めに防除を行う 晴天時の散布には薬害に注意する
			チェス顆粒水和剤	5000 (3日)	アブラムシ類	
			ダニサラハフロアブル	1000 (前日)	ハダニ類	
6月	収穫		ベルコート水和剤	1000 (前日)	菌核病 うどんこ病	
			モベントフロアブル	2000 (前日)	アブラムシ類 ハダニ類	
			スピノエース顆粒水和剤	5000 (前日)	アザミウマ類	
			ストビーフロアブル	2000 (前日)	うどんこ病 つる枯病	
			デュアルサイド水和剤	2000 (3日)	ハダニ類 アザミウマ類	散布する際は、葉裏までかける。1週間隔の2回散布が有効

☆病害虫発生状況に応じて使用できる薬剤(成分×回数)の上限を超えないように注意してください)

薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期(収穫前)
ドロクロール	1 穴当り 2~3ml	つる割病:センチュウ類	
オーソサイド水和剤 80	800 倍 600 倍	苗立枯病 つる枯病・べと病	14日前まで
スタークル粒剤	2g/株	ワタアブラムシ	定植時
アドマイヤー水和剤	2000 倍	アブラムシ類	3日前まで
モスピラン顆粒水溶剤	2000 倍	アブラムシ類・ウリノメイガ	3日前まで
マイトコーネフロアブル	1000 倍	ハダニ類	前日まで
ロディー乳剤	1000~2000 倍	アブラムシ類・ハダニ類	前日まで
アフーム乳剤	1000~2000 倍	ミナキイロアザミウマ	前日まで
アグリメック	500~1000 倍	アザミウマ類・ハダニ類	前日まで
フェニックス顆粒水和剤	2000倍	ハスモンヨウ、ウリノメイガ、オオタバコガ	前日まで
スミレックス水和剤	1000倍	つる枯病・菌核病	7日前まで
アミスター 20 フロアブル	2000倍	つる枯病・炭疽病	前日まで
ダコニール1000	700~1000 倍	つる枯病・炭疽病	3日前まで
ロブラール水和剤	1000倍	つる枯病・菌核病	前日まで
シグナム WDG(2成分) ※カンタストライフロアブルの成分含む。総使用回数注意	1500~2000 倍	うどんこ病、つる枯病、炭疽病	前日まで
トリフミン水和剤 ※パンチョ TF 顆粒水和剤と同成分含む 総使用回数に注意	3000~5000 倍	うどんこ病	前日まで
パンチョTF顆粒水和剤 (2成分)	2000 倍	うどんこ病	前日まで
カスミンボルドー	1000倍	うどんこ病、褐斑細菌病	前日まで
ガッテン乳剤	5000 倍	うどんこ病	前日まで

☆ちばエコ農業で化学合成農薬に含めない農薬

薬剤名	希釈倍数・処理量	対象病害虫	使用時期(収穫前)	使用回数
デュアルサイド水和剤	2000倍	ハダニ類・アザミウマ類	3日前まで	5回以内
コロマイト乳剤	1000倍	ハダニ類	7日前まで	2回以内
スピノエース顆粒水和剤	5000倍	ミナキイロアザミウマ	前日まで	2回以内
カリグリーン	800~1000倍	うどんこ病	前日まで	—
イオウフロアブル	500倍	うどんこ病	—	—